

令和7年度

授業シラバス・
年間指導計画

芸術
(1年)

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
芸術	音楽 I	2	MOUSA I（教育芸術社）

学習のねらい	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
--------	--

授業形態 アドバイス など	・音楽選択者2クラス合同で授業を実施します。 ・歌唱・器楽・創作について、様々な活動を通して技能を身に付け、表現することの喜びや楽しさを味わいましょう。鑑賞について、感性を働かせてその音楽のよさや美しさを味わい、音楽文化に対する理解を深めましょう。 ・グループで活動する場面が多くありますので、自分の考えを言葉で表現しお互いに伝え合い、他者との調和を意識することで、音によるコミュニケーションを充実させるようにしましょう。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
育てたい生徒像 （資質・能力）との関連	教養力 理解力	思考力 判断力 表現力	自律力 省察力 協働力
主な評価方法	授業中の取り組み状況 実技テスト 等	授業中の取り組み状況 ワークシートの記述内容 等	授業中の取り組み状況 振り返りシート 等

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	ボイストレーニング 斉唱・二重唱	・歌う時の姿勢や発声法を理解し、正しい音程で歌うことができる。	・イメージをもって表現を工夫して歌うことができる。	・旋律と言葉との関係に関心を持ち、意欲的に歌唱表現している。
	リズムアンサンブル	・音価を理解し、正しいリズムが表現できる。	・他パートとのバランスなどを考えて表現を工夫できる。	・リズムの組み合わせに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
	器楽(ギター)	・曲想とギターの音色との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法を身に付けている。	・音高の変化や楽曲の旋律の美しさを感じ取り、表現を工夫できる。	・ギターの音色や奏法に関心を持ち、意欲的に練習している。
	創作	・コードの構成音について理解している。 ・コード進行に合わせてメロディーを創ることができる。	・反復、変化などの手法を活用してメロディーを工夫できる。	・音の組み合わせやつなげ方に関心を持ち、意欲的に創作活動に取り組んでいる。
	鑑賞 (オーケストラ・バレエ)	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	・根拠をもって楽曲や演奏を批評することができる。	・音楽を形づくっている要素やそれらの働きに関心を持ち、演奏表現の特徴を味わって鑑賞している。
後期	ドイツ歌曲・イタリア歌曲	・原語の発音やその強弱によるリズムと旋律の関わりについて理解している。	・歌詞の内容と曲想に合った表現を工夫して歌うことができる。	・旋律と言葉との関係に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
	器楽合奏	・楽器の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。	・他者との調和を意識し、まとまりのある合奏になるよう工夫できる。	・楽器の音色やアンサンブルに関心を持ち、意欲的に練習している。
	鑑賞 (オペラ・ミュージカル)	・物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解している。	・自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、意欲的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
	合唱	・声部の役割を理解し、全体の響きに調和させて合唱表現を行う技能を身に付けている。	・歌詞の内容と曲想を味わい、美しい言葉の表現を工夫して歌うことができる。	・声の重なり方や響きに関心を持ち、意欲的に合唱に取り組んでいる。
備考				

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教材
芸術	美術 I	2	高校生の美術 I（日本文教出版）

学習のねらい	美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術作品、美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１） 美術と文化・歴史の関わり及び美術表現の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした作品制作をするために必要な技能を身に付けるようにする。 （２） 自己のイメージをもって表現を創意工夫することや、美術作品の美しさを味わうことができるようにする。 （３） 主体的に美術の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし美術を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
--------	---

授業形態 アドバイス など	・美術選択者2クラス合同で授業を実施します。 ・制作に必要な用具を別途購入してもらう場合があります。 ・身の周りのものを注意深く観察し、その色や形の造形的な美しさに感動する豊かな心を育てましょう。 ・1つの作品を制作するために10時間以上かかることもあるので、あきらめず最後まで取り組む姿勢を身に付けてください。 ・さまざまな技法・素材に出会い、表現することの面白さやものづくりの楽しさを味わってください。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	・創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付け、自分の表現意図に合った方法を選択し、素材の特性を理解して制作に取り組むことができる。	・色や形、構図など、造形的な要素に注目して作品を制作、鑑賞することができる。 ・作品から自分が感じた印象を言語化できる。	・美術表現に関心を持ち、意欲的に表現形式や方法、材料などへの理解を深め、主体的に創造活動、鑑賞活動に取り組んでいる。
育てたい生徒像 （資質・能力） との関連	教養力 理解力	思考力 判断力 表現力	自律力 省察力 協働力

主な 評価方法	授業中の取り組み状況 制作作品 等	授業中の取り組み状況 ワークシートの記述内容 等	授業中の取り組み状況 振り返りシート 等

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	○鉛筆デッサン ○油彩静物画 ○サイン作成	対象の形を正確に捉えることができる。 鉛筆による明暗やタッチの表現を身に付ける。 混色や重色を用いて色を塗ることができる。	構図を工夫することができる。 混色や重色を工夫して対象の色・質感を表現できる。	絵画表現に関心を持ち、意欲的に表現形式や方法、材料などへの理解を深め、主体的に創造活動に取り組んでいる。
	○作品鑑賞	他者の作品を鑑賞することで、多様な表現方法があることを知り、美術に対する理解を深める。	作品を見た時に自分が何を感じ取ったのか言語化できる。 好き・嫌いからスタートし、その理由を造形的な視点から説明できる。	古今東西の絵画作品に関心を持ち、制作方法や作品の来歴、作者の生涯など作品の背景にも注目しようとしている。
後期	○抽象彫刻	仕上がりの形を想像しながら彫り進めていくことができる。彫刻刀ややすりといった道具を適切に扱うことができる。	ワークシートの内容をもとに、言葉で説明した形を立体で表現することが出来る。	抽象的な形が持つ魅力や、形と感情、形と言葉の結びつきに興味を持って制作に取り組むことが出来る。
	○クレイアニメーション	作成した絵コンテをもとに、計画的に制作活動に取り組むことができる。	可塑性のある粘土の特徴を生かし、形の変化を感じられる表現ができる。	クレイアニメの制作方法に関心を持っている。 chrome book のカメラ機能を生かし、制作に取り組むことが出来る。
	○作品鑑賞	色や形など、造形的な要素に注目して作品を鑑賞することができる。	作品から自分が感じた印象を言語化できる。	自分やクラスメイトの作品に興味関心を持って意欲的に鑑賞することができる。
備考				

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科1年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
芸術	書道Ⅰ（書道Ⅰ）	2	書Ⅰ（光村図書）

学習のねらい	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１） 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 （２） 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 （３） 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
--------	--

授業形態 アドバイス など	書に興味・関心を持ち、意欲的に授業に参加することが大切です。 書道は書写とは違い、正解は一つではありません。クラスメートと互いに意見を交わしながら、ものを見る力、感じる力、表現する力を高めていき、言葉を大切にしながら表現することを楽しんでいきましょう。 クロムブックが必要な時は指示します。 道具も大切にしてください。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	- 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 - 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
育てたい生徒像 （資質・能力）との関連	表現力 教養力	思考力 判断力 表現力	創造力 省察力
主な評価方法	制作作品 作品原稿 ワークシート	制作作品 作品原稿 ワークシート	観察 制作作品 作品原稿 レポート 硬筆プリント

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	【はじめに】 ○書道で学習すること ○書写から書道へ	国語科書写と芸術科書道の内容について理解している。		積極的に書写と書道の関連を理解し、これからの学習に主体的に取り組もうとしている。
	【漢字の書(楷書)】 ○漢字の変遷とさまざまな書体 ○篆刻 ○文字の造形を学ぶ(楷書) ・九成宮醴泉銘(鑑賞・臨書) ・孔子廟堂碑(鑑賞・臨書) ・牛橛造像記(鑑賞・臨書) ・雁塔聖教序(鑑賞) ・顔氏家廟碑(鑑賞) ・拓本を採る ○創作する(扇子作品)	各書体の特徴や発生した時代背景について理解している。 篆刻の基本的な技能を身に付けている。 楷書の古典の書体や書風に即した線質や用筆・運筆・字形について理解し表現している。	各書体の美について考え、そのよさや美しさを味わって捉えている。 篆書の特徴を捉えて、表現を構想し、工夫している。 楷書の古典の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。	各書体の特徴や漢字の変遷など書道史への関心を高めようとしている。 雅印としての美を追求し書作品における役割を主体的に生かそうとしている。 楷書の古典のよさや美しさを感じ取り、漢字の書の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
後期	【仮名の書】 ○仮名の成立と種類 ○文字の造形を学ぶ ・仮名の筆遣い ・平仮名 ・高野切第三種 ○構成を学ぶ ○創作する(百人一首作品)	仮名の成立や字母、連綿と用筆・運筆との関わりについて理解し表現している。	仮名の書の美に対する感性を働かせ、連綿やそれを生み出すリズムや全体の構成など、日本の伝統的な書の美を感じ、表現を工夫している。	仮名の成立について理解し、そのよさや美しさを感じ取り、仮名の書の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
	【漢字の書(行書)】 ○文字の造形を学ぶ(行書) ・蘭亭序(鑑賞・臨書) ・争座位文稿(鑑賞) ・風信帖(鑑賞) 【漢字仮名交じりの書】 ○漢字仮名交じりの書とは ○心に響く言葉を書く ・好きな言葉を書こう ・あなたはどの書が好き? ・表現の幅を広げよう	行書の古典の書体や書風に即した線質や用筆・運筆・字形について理解し表現している。 用具・用材の特徴と表現効果の関わりを理解し、古典や古筆の表現効果を踏まえ、漢字と仮名を調和させ表現している。	行書の古典の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 感性を働かせながら書を構成する表現の諸要素を感受し、自らの意図に基づいて構成し、表現を工夫している。	行書の古典のよさや美しさを感じ取り、漢字の書の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 言葉や文字と書の伝統文化について理解を深め、漢字仮名交じりの書のよさや美しさを感じ取り、主体的に学習活動に取り組もうとしている。
備考				